科目名	ボランティア2							年度	2025
英語科目名								学期	通年
学科·学年	音響芸術科 2年次 必	公/選	選	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	古川敬祐		教員の実務経験 有		有	実務経験の職種		エンジニア	

#### 【科目の目的】

ボランティア活動(社会貢献・地域貢献)を通してコミュニケーション能力を育み、社会人としての思いやりや、社旗と関 わる喜びを得る。

### 【科目の概要】

社会貢献、地域貢献といった体験を通じて、社会に関わる喜びを得ていきます。

### 【到達目標】

- A. 積極的にボランティアに取り組み、2団体に関する社会貢献を経験する。 B. 2団体に関して、様々な人々とのコミュニケーションを通じて人間力を高める。
- C. 社会人としての思いやりがあり、社会と関わる喜びを得る。

## 【授業の注意点】

地域社会と学生のコミュニケーションを重視しキャリア形成、ボランティアの観点から、私語や態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。ただ参加するだけでなく、社会貢献を前提としたマナーで自覚を持って参加するこ とを求める。

評価基準=ルーブリック									
ルーブリック	レベル3	レベル2	レベル 1						
評価	優れている	ふつう	要努力						
到達目標 A	積極的にボランティアに取り組み、2団体に関する社会貢献を 経験する	ボランティアに取り組み、 社会貢献を経験する	到達目標Aについて さらなる努力が必要						
到達目標 B	2団体に関して、様々な人々との コミュニケーションを通じて人 間力を高める	様々な人々との コミュニケーションを通じて人 間力を高める	到達目標Bについて さらなる努力が必要						
到達目標 C	社会人としての思いやりがあ り、 社会と関わる喜びを得る	社会と関わる意義を説明できる	到達目標Cについて さらなる努力が必要						

#### 【教科書】

特に無し

#### 【参考資料】

必要に応じて、プリントを配布する

# 【成績の評価方法・評価基準】

ルーブリックに基づく評価を行う。評価方法は主にグレード試験と提出物で行う。また補足的にレポート評価を行う場合も ある。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

	科目名		ボランテ	ィア 2	年度	20	)25
	英語表記				学期	通	年
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル		評価方法	三部
			1 SDGs6の概要	SDGs6の理解ができる			T
1	SDGs6理解	SDGs6検証	2 水質保全策	水関連問題の検証ができる		3	
			3 グループ討論	事例から学べる		1	
2			1 SDGs7の概要	SDGs7の理解ができる			t
	SDGs7理解	SDGs7検証	2 再生可能エネ	クリーンエネルギーの事例検証		3	
			3 ケーススタディ	再生可能エネルギーを理解			
3	SDGs8理解		1 SDGs8の概要	SDGs8の理解ができる			T
		SDGs8検証	2 働き方改革	良質な仕事の必要性を理解			
			3 模擬プロジェクト	実践的な事例分析			
			1 SDGs9の概要	SDGs9の理解ができる			T
4	SDGs9理解	SDGs9検証	2 イノベーション論	産業・技術革新の理解		3	
-		and the second	3 技術比較検討	インフラ整備の事例研究			
			1 SDGs10の概要	SDGs10の理解ができる			t
5	SDGs10理解	SDGs10検証	2 不平等是正策	不平等の解消方法を学ぶ			
			3 ロールプレイ	多様性の尊重ができる		3	
			1 SDGs11の概要	SDGs11の理解ができる			$\vdash$
6	SDGs11理解	SDGs11検証	2 持続可能都市	持続可能な都市計画を学ぶ		3	
		5003117天田上	5005111央皿.	3 事例研究発表	安全な住環境づくりを理解		1
7	SDGs12理解	SDGs12検証	1 SDGs12の概要	SDGs12の理解ができる			
			2 消費者責任	持続可能な消費を学ぶ		3	
			3 ワークショップ	責任ある消費行動を理解			
			1 SDGs13の概要	SDGs13の理解ができる			t
8	SDGs13理解	SDGs13検証	2 気候変動対策	気候変動対策の理解		3	
	OD0010×±/17	55 05 10 <sub>1</sub> % µm.	3 アクションプラン	緊急対策の計画ができる			
			1 SDGs14の概要	SDGs14の理解ができる			t
9	SDGs14理解	SDGs14検証	2 海洋資源保護	海の持続可能性を学ぶ		3	
		,	3 シミュレーション	海洋資源の管理ができる			
_			1 SDGs15の概要	SDGs15の理解ができる			t
10	SDGs15理解	SDGs15検証	2 生態系保全	陸の生態系保護の重要性		3	
			3 野外活動	生物多様性の理解ができる		1	
			1 SDGs16の概要	SDGs16の理解ができる			t
11	SDGs16理解	SDGs16検証	2 平和社会構築	平和と公正を学ぶ		3	
			3 ディベート	包摂的社会づくりを理解		1	
			1 SDGs17の概要	SDGs17の理解ができる			t
12	SDGs17理解	SDGs17検証	2 パートナーシップ	パートナーシップ構築を学ぶ		3	
			3 グループプロジェク			1	
			1 ボランティア理論	ボランティア活動ができる			t
13	ボランティア	実践参加	2 ボランティア計画	実践的なボランティア理解		3	
			3 ボランティア実施	社会貢献の意義を学ぶ		1	
		1	<del>                                     </del>	ボランティア報告ができる			t
14	ボランティア	実践報告	2 成果共有会	自己の経験を共有できる		3	
		Z SEATE H	3 フィードバック	反省点を見つけ改善できる		<b>†</b>	
—			1 レポート作成	レポートを作成できる			t

15	まとめ	レポート提出	2 提出要領説明	提出手順を理解できる			
			3 今後への展望	自己評価ができる			
評価方法:1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価:S:とてもよくできた、A:よくできた、B:できた、C:少しできなかった、D:まったくできなかった							
備考等							